

第 1 回菰野町総合計画策定検討委員会・資料 8（以下「第 1 回資料 8」といいます）の追加になります。

次期菰野町総合計画

基礎調査資料集

<追加内容>

1. 「健康」の基礎資料として「**平均寿命・健康寿命の推移**」を追加しました。
（第 1 回資料 8 の P13 → 今回資料 1 の P13・14 に変更）
2. （上記 1. により第 1 回資料 8 の P14～20 について 1 ページずつページ番号変更）
3. 「都市基盤」の基礎資料として「**菰野 IC と四日市 IC の利用台数（出入口計）の月別推移**」を追加しました。
（第 1 回資料 8 の P21 → 今回資料 1 の P22・23 に変更）
4. （上記 1. と 2. により第 1 回資料 8 の P22～41 について 2 ページずつページ番号変更）

なお、上記追加後の全ページ版は町ホームページに掲載予定です。

目 次

《人口》

- 1. 人口..... 1
- 2. 人口動態・人口流動..... 4
- 3. 人口推計..... 7

《防災・生活安全》

- 1. 防災、消防・救急..... 8
- 2. 生活安全..... 10

《子ども・健康・福祉》

- 1. 子ども..... 11
- 2. 健康・福祉..... 13

《環境・都市基盤》

- 1. 環境・生活..... 18
- 2. 都市基盤..... 21

《教育・文化》

- 1. 学校教育..... 25
- 2. 社会教育..... 27

《観光・産業》

- 1. 産業全般..... 32
- 2. 観光..... 34
- 3. 農林業..... 35
- 4. 商工業..... 37

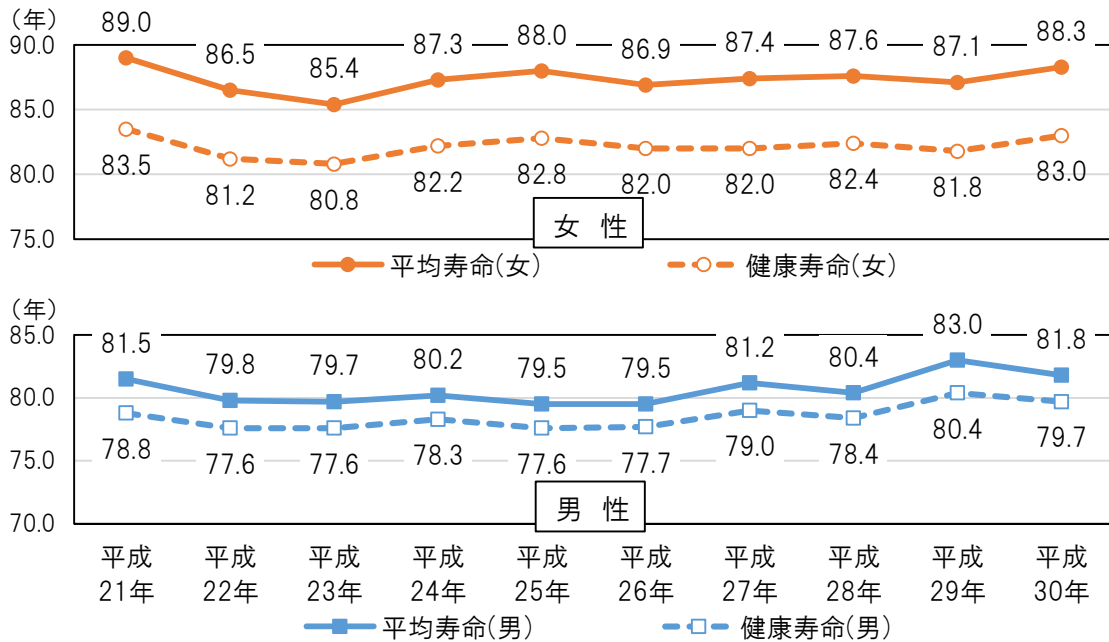
《行財政》

- 1. 行財政..... 40

2. 健康・福祉

健康寿命¹について、この10年間の平均をみると、男性が78.5年、女性が82.2年となっており、平均寿命との差は男性が約2.2年、女性が約5.2年となっています。

■平均寿命・健康寿命の推移

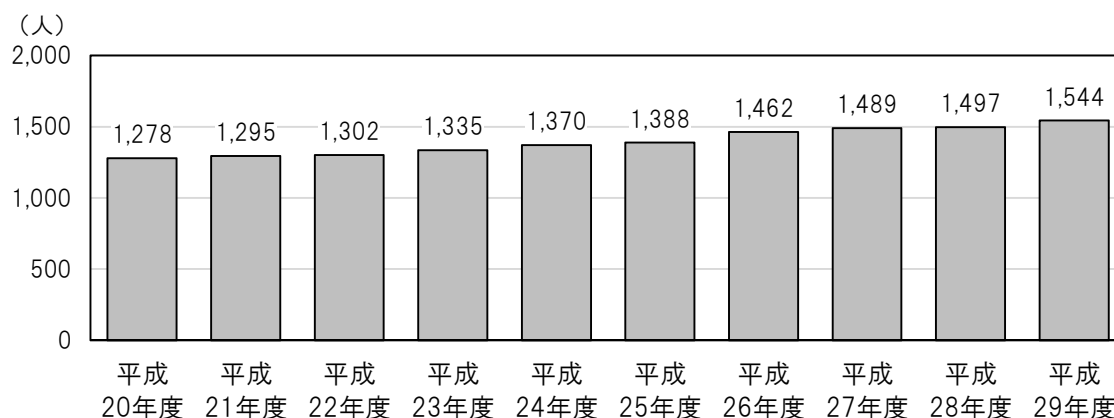


資料：県健康福祉部による推計（Sullivan法）

¹ **健康寿命**：日常的・継続的に介護などを必要とすることなく、日常生活が制限されることなく生活できる期間。計算式は、「平均寿命」から「障がい期間（加齢に伴って生じる心身の変化に起因する疾病によって介護や医療が必要になった期間）」を引くことによって求める。

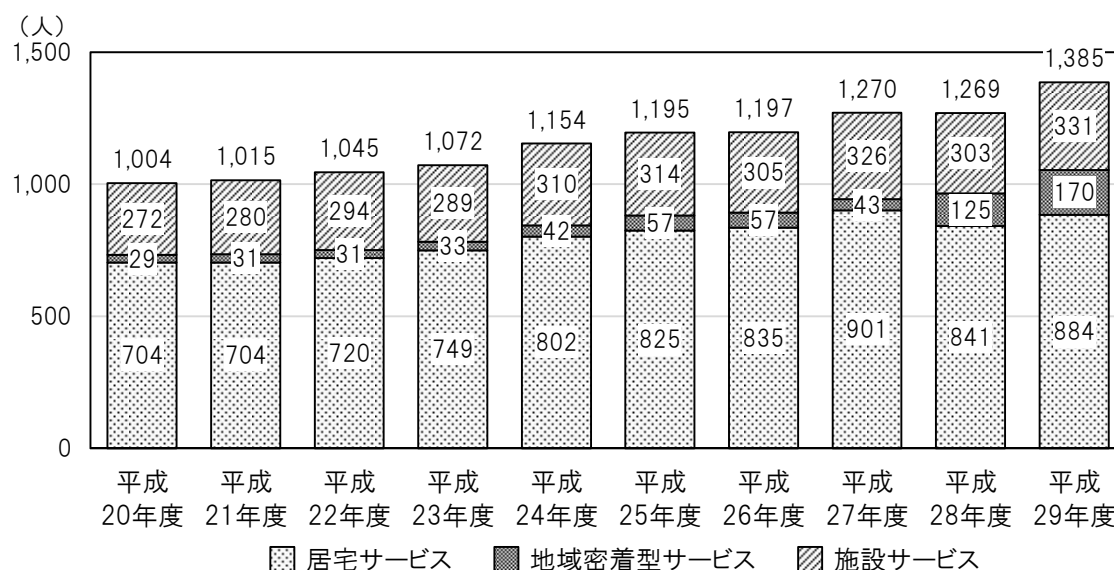
高齢者介護について、要支援・要介護認定者数²は年々増加しており、1,500人を超える人が要支援・要介護の認定を受けています。また、介護保険サービス³の利用について、サービスの受給者数全体は増加傾向にあり、特に平成28年度以降は地域密着型サービスの利用が増えています。

■要支援・要介護認定者数の推移



資料：介護保険事業状況報告

■介護保険サービス受給者数の推移



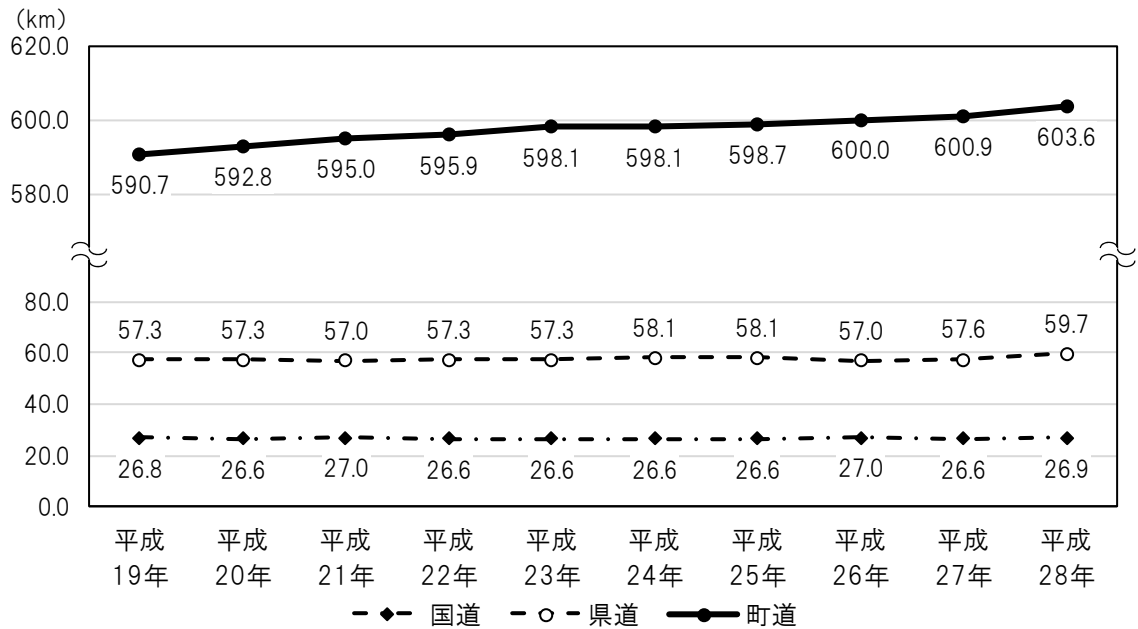
資料：介護保険事業状況報告

² 要支援・要介護認定：介護保険制度では、寝たきりや認知症等で常時介護を必要とする状態（要介護状態）になった場合や、家事や身支度等の日常生活に支援が必要であり、特に介護予防サービスが効果的な状態（要支援状態）になった場合に、介護の必要度合いに応じた介護サービスを受けることができる。これらの状態にあるかどうかの判定を行うのが要介護認定であり、全国一律の基準に基づき、客観的に判定される。

³ 介護保険サービス：介護保険で受けられるサービスは大きく3つに区分され、自分の居宅に住んだまま提供を受けられる訪問介護、通所介護、短期入所などの居宅サービス、特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設に入所して提供される施設サービス、及び身近な地域で生活し続けることを目的に、その市町村の要支援・要介護者のみに対して提供される地域密着型サービスがある。

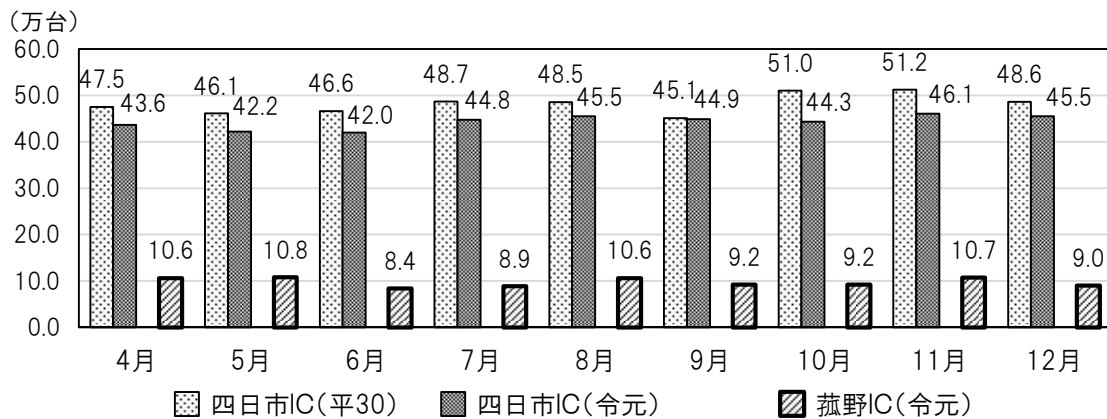
道路については、平成 28 年までの状況としては国道、県道の実延長はほぼ横ばいであり、町道については徐々に実延長を延ばしています。この間、平成 26 年 5 月には国道 477 号バイパスの高角 I C～吉沢 I C間が供用開始しました。その後も町内では、平成 30 年 8 月に湯の山かもしか大橋が開通、平成 30 年 10 月に国道 477 号バイパス吉沢 I C～新名神高速道路菰野 I C間が供用開始、平成 31 年 3 月に新名神高速道路新四日市 JCT～亀山西 JCT 間が開通し、菰野 I Cが設置されるなど、広域的な道路網の整備が進んでいます。この開通によって、四日市 I Cの利用台数が平成 30 年と令和元年とで月平均 3.8 万台減少する一方、菰野 I Cでは月平均 9.7 万台の利用台数があり、通過交通が分散化され、新たな利用が加わるなどの効果が現れています。

■道路実延長の推移



資料：県道路管理課

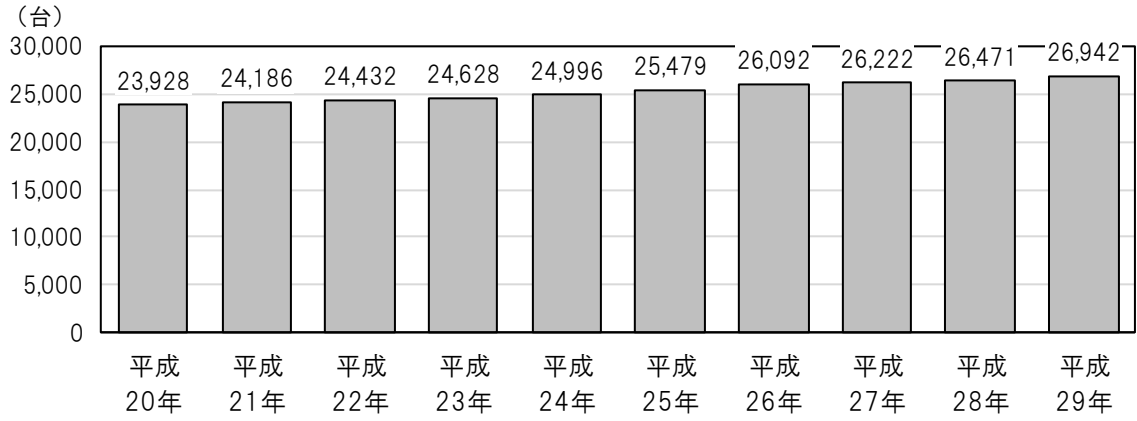
■菰野 I Cと四日市 I Cの利用台数（出入口計）の月別推移



資料：中日本高速道路株式会社

自家用乗用車数の推移については、年々、自動車数が増えており、この10年間で約3,000台が増加しています。

■自家用乗用車数の推移



資料：(一社)日本自動車販売協会連合会三重県支部「三重県自動車数要覧」